



すすき幼稚園園児による初泳ぎ

牧之原の海に一番乗り!

■海水浴場海開き

さがらサンビーチ、静波海水浴場の海開きが7月14日に行われ、両海水浴場でシーズン中の安全を祈願する神事が行われました。

さがらサンビーチでは、安全祈願神事後、すすき幼稚園と相良こども園の園児による初泳ぎが行われ、園児らは一斉に海へと走り出し、波をジャンプしたり海水をかけあったりと、初夏の海を満喫しました。

両海水浴場での遊泳期間は、8月31日までの予定です。

お茶について、いろいろ知ったよ

■第18回一番茶品評会・お茶教室

市認定農業者協議会の一番茶品評会が7月4日、い〜らで開催されました。同会員の茶工場から64点の一番茶が出品。外観や水色、香気、滋味の4項目について審査されました。最優秀賞には、高塚勝之さん(菅山支部)のお茶が選ばれました。

また、静岡牧之原茶に親しみを持ってもらおうと、市内の小学生を対象にお茶教室を開催。招待された市内8校313人の児童らは、同会員からお茶の入れ方を学んだ後、審査会場を見学したり茶葉に触れたりとお茶について学習しました。



お茶の入れ方を実践する菅山小の児童

全日本選手権でも頂きを目指す

■全日本女子学生剣道選手権大会優勝選手が市長を表敬訪問

全日本女子学生剣道選手権大会で初めて優勝した川合芳奈さん(筑波大学3年、静波出身)が7月20日、市役所榛原庁舎を訪れました。

榛原中学校を卒業後、東海大学付属静岡翔洋高校を経て、大学に進学した川合さんは、5月の関東女子学生剣道選手権大会で優勝した勢いそのままに、初出場ながら大学生の頂点に立ちました。9月の全日本女子剣道選手権大会への出場を控える川合さんは、「得意のメンだけではなく、メンタル面も強化して優勝したい」と意気込みました。



市長に世界大会出場の抱負を語る加藤さん

少しでも上に登りたい

■パラクライミング世界選手権大会出場選手が市長を表敬訪問

パラクライミング世界選手権大会(8月8日~10日、スイス)に出場する加藤あすみさん(勝間田区)が7月7日、市役所相良庁舎を訪れました。

重度の四肢障がいがある加藤さんは、体を動かす機会を持つと、2年ほど前から主に市内施設でボルダーを開始。順調に力を付け、3月のパラクライミングジャパンシリーズで出場クラス第1位となり、今年度の日本代表選手に選ばれました。

加藤さんは「自分でできるクライミングで少しでも上に登りたい」と抱負を話してくれました。

夏はやっぱりマリンスポーツだ!

■市内小学校でのマリンスポーツ体験会

市では7月、本格的なマリンスポーツの時期を前に、地元のサーフィン関係者やマリンスポーツ関係者の協力の下、市内4つの小学校で「マリンスポーツ体験会」を開催しました。

3日には、牧之原小学校のプールで6年生34人を対象に「サーフィン体験」を開催。児童らは、パドリング(手でこぎ動作)やサーフボード上に立ち上がる練習を行いました。ボード上でのバランスに慣れてくると回転したり飛び跳ねたり、自由なスタイルでサーフィンを楽しんでいました。

5日には、勝間田小学校で「サーフィン体験」を開催し、4~6年生74人が参加。事前に4年生はパラサーフィン日本代表選手と交流会を開き、福祉とパラスポーツを学びました。その縁で体験会にパラサーフィン日本代表選手4人が参加。体験会ではプールで選手や地元関係者から直接指導を受けながら、サーフィンを体験しました。

11日には、地頭方小学校のプールで、5年生34人を対象に「SUP(*)体験」を開催しました。児童らは、まずパドルの持ち方やこぎ方、方向転換の仕方、バランスの取り方などを講師から教わった後、レースを行いました。

14日には、坂部小学校5、6年生31人を対象に「サーフィン体験」を開催しました。同校では初めての開催で、児童はサーフボードにうつ伏せで乗り、パドリングやボード上に立ち上がる練習を行いながら、25メートルプールを何回も往復しました。

* SUPとは、「Stand Up Paddleboard(スタンドアップパドルボード)」の頭文字を取った略称。ボードの上に立ち、パドル(オール)をこいで水面を進む、近年人気のアクティビティ。



勝間田小学校「パラサーフィン日本代表選手との交流会&サーフィン体験」



坂部小学校「サーフィン体験」



牧之原小学校「サーフィン体験」



地頭方小学校「SUP体験」



全日本選手権でも優勝を狙う川合さん